


エアトリ杯

第26回全日本少年少女空手道選手権大会

1. 大会名

KARATE WEEK 2026 エアトリ杯 第26回全日本少年少女空手道選手権大会

2. 主催・後援

主催	公益財団法人全日本空手道連盟
後援（予定）	スポーツ庁、（公財）日本オリンピック委員会、（公財）日本スポーツ協会 東京都、（公財）日本武道館、日本武道協議会、NHK
協賛	

3. 期日・会場

- ・期日：令和8年8月13日(木)～15日(土)
- ・会場：京王アリーナ TOKYO
東京都調布市西町 290-11 京王線 飛田給駅北口 徒歩5分程度
※会場へのお問い合わせは一切禁止します。

4. 日程・競技種目

日程	カテゴリー	備考
8月13日(木)	小学3年生女子、小学4・5年生男女 形・組手	
8月14日(金)	小学1・2年生男女、小学3年生男子 形・組手	
8月15日(土)	小学6年生男女 形・組手	幼児・パラ同時開催

5. 競技規定

（公財）全日本空手道連盟競技規定および本大会申し合わせ事項で行う。

（1）形競技

- ア. トーナメント方式で行う。（3位決定戦は行わない）
- イ. 1回戦から決勝戦まで得点による多数決で実施する。
- ウ. 1回戦から準決勝戦までは2名同時演武、決勝戦は1名ずつの演武とする。
- エ. 形の指定

1回戦から準々決勝戦	全空連基本形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
準決勝戦	予選で演武していない基本形・第1指定形・第2指定形から選択する。
決勝戦	これまで演武していない基本形または指定形を選択する。

- オ. 手話または表示による形の呼称を認める。
- カ. 補聴器の装着を認める。
- キ. 手話通訳者を帯同することができる。（パーソナルコーチとして登録することも可能）

(2) 組手競技

ア. トーナメント方式で行う。(3位決定戦は行わない)

イ. 競技は1分30秒フルタイム・6ポイント差とする。

ウ. ビデオレビュー (VR) システム、プロテストは採用しない。

競技規定違反に対する異議申し立てについては、その場でコート主任に申し出て訂正を促すこと。

(3) 組手安全具について

ア. 小学生用拳サポーター (全空連承認の赤・青リバーシブル)

イ. メンホーVII (全空連承認のもの)

ウ. ボディプロテクター (全空連承認のもの)

エ. インステップガード・シンガード (全空連承認の白色)

オ. セーフティカップ (小学3年生以上の男子は必ず装着)

※セーフティカップ装着について、小学1・2年生男子は保護者・指導者・監督等の判断に委ねる。

※安全具は選手各自において用意すること。

※安全具に不備のある選手は出場することができない。

(4) 選手の服装について (別紙参照)

ア. 空手着メーカーについては指定しない。

イ. 空手着の紐は必ず結ぶこと。

ウ. 赤・青帯は全空連で検定されたものを各自で用意すること。

エ. 金属類のヘアピン等、ヘアバンド、リボン、ビーズの使用・装着は一切認めない。

シングルポニーテールに1つまたは2つの控えめなゴムバンドの使用は許可する。

オ. 左胸に都道府県名を入れること。(シールタイプも可とする)

カ. 交付される全少ワッペンを左肩口に縫着すること。

※縫着するものは、全ての辺をしっかりと縫い付けること。

※シールタイプのもを装着する場合は、剥がれないように配慮すること。

※空手着に不備のある選手は出場することができない。

(5) 監督・パーソナルコーチの服装について

ア. 監督・コーチは全空連指定ポロシャツ (ワイン色) を着用すること。

イ. パーソナルコーチは全空連指定ポロシャツ (ワイン色) の着用を推奨するが、同系色のポロシャツを着用することもできる。(ワンポイント可)

ウ. スラックスは黒、紺またはグレー系とする。

エ. シューズは床を傷つけない者とし、派手な色合いは禁止とする。(サンダル不可)

オ. IDカードを携帯すること。(首から下げる)

※女性はスラックスまたはスカートでもよい。

(6) 大会審判団は、(公財) 全日本空手道連盟により編成される。

ア. 各都道府県が推薦した全国組手審判員および地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員として委嘱する。

※各都道府県は上記資格を有する審判員を最低2名以上推薦すること。

イ. 大会審判員に不足が生じた場合、関東地区協議会の審判員から委嘱する。

ウ. 審判員は全空連公式ポロシャツ (紺色) を着用すること。

6. 出場枠

各都道府県連盟から各種目4名選出できるものとする。

- (1) 同一選手が形競技と組手競技の両方に参加することは認めない。
- (2) 前年度大会の優勝者、準優勝者、第3位(2名)に当該種目の出場権およびシード権を与える。
 - ア. 出場権およびシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、出場権およびシード権の繰り上げは行わない。
 - イ. 出場権およびシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、または前年度と異なる都道府県から出場する場合、その選手は出場権およびシード権を失う。
 - ウ. 出場権およびシード権を持つ選手の出場申し込みは、所属の都道府県空手道連盟を通じて行う。なお、出場費は他の選手と同様とする。
 - エ. 前年度大会の準決勝戦において、優勝者に負けた選手を第3シード、準優勝者に負けた選手を第4シードとする。

7. 出場資格

【選手・監督・コーチ・パーソナルコーチ共通事項】

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟の会員であること。

【選手】

- (2) 各都道府県連盟が選出した代表選手であること。
- (3) 全空連公認少年段位または公認級を保有していること。

【監督・コーチ】

- (4) 都道府県監督は1名とし、コーチは5名まで登録することができる。

※都合により、3日間を通して5名以上のコーチ登録が必要な場合は、別に登録することができる。

ただし、一度に入館できる監督・コーチは6名までとし、監督・コーチIDは最大6枚しか発行しない。

- (5) 日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

【パーソナルコーチ】

- (6) パーソナルコーチ登録は選手単位とし、複数選手への登録は認めない。

※登録された選手はパーソナルコーチのサポートを受けることができる。

- (7) パーソナルコーチは中学生以上とする。
- (8) 保有資格は問わないが、事前講習(動画視聴型)を必ず受講し、所定の課題に合格すること。

8. 申込手続き

- (1) 申込方法および申込期間は以下の通りとする。

ア. 出場選手の申込みは、全日本空手道連盟会員システムより申し込みを行う。

イ. パーソナルコーチ申込は別指定の申込みツールより申し込みを行う。

① 申込リンクは都道府県空手道連盟を通じて送付する。

② 申込時に登録費用を決済(クレジットまたはコンビニ決済)する。

ウ. 申込期間:2026年6月8日(月)~6月26日(金)までとする。(上記ア・イの全ての申込み適用)

- (2) 留意事項

ア. 申込内容に不備があるとき、または申込期限に遅れた場合は出場を認めない。

イ. 申込後の変更は、申込期限内であっても認めない。(監督・コーチ・パーソナルコーチ含む)

9. 出場費

- (1) 出場費 1種目 1名 8,000円
パーソナルコーチ登録費(講習会費込) 1名 3,000円(別途、システム利用手数料が発生する)
- (2) 留意事項
- ア. 納入された参加費は、理由の如何に関わらず返金しない。
イ. 各明細書を領収書の代わりとする。

10. 組み合わせ抽選

組み合わせ抽選会の結果は7月下旬に(公財)全日本空手道連盟公式ホームページに掲載する。

11. 表彰

(1) 文部科学大臣旗およびエアトリ杯の授与について

男女別に総合得点最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状・エアトリ杯をそれぞれ授与する。
得点及び順位決定は次による。

▶国民スポーツ大会方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

- ① 形競技 1位8点、2位7点、3位5点(2名)、5位2.5点(4名)
② 組手競技 1位8点、2位7点、3位5点(2名)、5位2.5点(4名)

(2) 形競技・組手競技ともに上位8名を表彰する。

※表彰式への参加は対象選手、監督、コーチ、パーソナルコーチのみとする。

※表彰式終了後は上記以外にもアリーナ内への入場を可とする。

12. 審判会議・監督会議・パーソナルコーチ講習

(1) 審判会議

日時：2026年7月27日(月)19時00分～19時45分(予定)

方法：zoomによるオンライン開催とする。

(2) 監督会議

日時：2026年7月27日(月)20時00分～20時45分(予定)

方法：zoomによるオンライン開催とする。

(3) パーソナルコーチ講習会(動画視聴型)

期日：案内発信日から2026年8月8日(土)まで

方法：パーソナルコーチ登録者に別途案内を送付する。

13. 配信について

本大会は(公財)全日本空手道連盟公式YouTubeチャンネルにてLIVE配信を予定する。

14. その他

(1) 安全対策

ア. 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。

イ. 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。

ウ. 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。

エ. 選手は必ず健康保険証を携行し、初診に必要な費用等を用意すること。

(2) ゼッケンは主催者で作成し、7月中に各都道府県連盟事務局に送付する。

(3) 試合を棄権する場合は、監督・コーチが事前もしくは当日招集時間までに棄権届を提出すること。

(4) 大会期間中の忘れ物は、大会終了後2週間は当連盟で保管する。

保管期間終了後は、管轄の警察署（警視庁東京湾岸警察署）に届け出を行う。

15. 肖像権について

本大会は、大会の様相をインターネットによる LIVE 配信にて実施する予定であり、会場にて観戦できない関係者への周知・案内も行う予定である。これらの事情を踏まえ、肖像の取り扱いについては以下の通りとする。

(1) 公益財団法人全日本空手道連盟および関係機関が認定した LIVE 配信業者・報道機関によって撮影された映像・写真が中継・録画放映またはインターネット等を通じて配信・二次利用される場合がある。

(2) LIVE 配信等の実施に際し、参加者の個人情報（氏名・所属等）および大会記録等を公表する場合がある。

(3) 本大会への参加申し込みをもって、上記（1）・（2）の取り扱いについて同意いただいたものとみなす。

(4) 掲載内容の訂正・削除等を希望される場合は、本人確認のうえ、当連盟ホームページにあるお問い合わせフォーム (<https://www.jkf.ne.jp/contactus>) よりお申し出いただきたい。

16. お問い合わせ

〒135-8538 東京都江東区辰巳 1-1-20 日本空手道会館

TEL：03-5534-1951 / FAX：03-5534-1952

Mail：y-sunakawa@jkf.jp

担当：企画業務課 砂川雄飛

※お問い合わせは各都道府県連盟担当者から行うこと。

選手保護者および選手関係者からのお問合せには対応しない。

会場利用上の注意

1. 本大会に関する会場へのお問い合わせは固くお断りします。お問い合わせは、必ず都道府県連盟事務局を通じてお願いします。
2. ご来場にあたっては、公共交通機関をご利用ください。
3. 会場周辺での路上駐車は固く禁止します。送迎のための一時停車を含め、近隣や他の通行の妨げ・迷惑となる駐停車は行わないでください。
4. 深夜・早朝からの入場待機は禁止します。開場時刻前に会場周辺で滞留することのないよう、ご協力をお願いいたします。
5. 観客席は土足で利用できますが、アリーナに入る際は土足厳禁となります。アリーナへの入場の際は靴袋をご用意ください。
6. 観客席での飲食は可能ですが、アリーナでの食事は禁止です。
7. 施設内および敷地内では、指定場所以外での飲食、喫煙、火気使用を禁止します。また、飲酒および飲酒状態での施設利用も禁止します。
8. 危険物の持ち込み、他の利用者の迷惑となる行為、施設・備品の損壊・汚損行為は禁止します。
9. ごみは主催者の指示に従って処理し、指定場所以外には捨てないでください。
10. 荷物・貴重品は各自で管理してください。紛失等による責任は負いかねます。
11. 会場使用後は、観客席・練習会場等の整理整頓および原状回復にご協力ください。
12. スタッフの指示に従わない場合、入場のお断り、または退場いただく場合があります。

別紙 服装について

1. 胸マークについて

縫着位置：左胸（都道府県名のみ）

サイズ：縦 20cm×横 10cm 以内とする。

※シールタイプを使用する選手は 4 つ角を仮止めするなど、剥がれないように配慮すること。

2. 両腕部マークについて

右腕：いかなる表記も認めない。

左腕：参加章ワッペンを縫着する。

※都道府県名、所属名等の独自の表記は認めない。

3. 製造業者商標ラベルについて

製造業者がはじめから付けた織ラベル・商標のみ、以下の個所に許可する。

許可箇所：上着裾表側、ズボン表側（左右どちらか）、右胸、首襟元のみ

※上記以外の個所へのワッペン・刺繍等は一切認めない。



空手着表記図	
左 胸	『1. 胸マークについて』記載事項のみ可
右 胸	製造業者商標のみ可（首襟元も可）
左 袖	参加章ワッペンを縫着する（第 26 回全少用）
右 袖	いかなる表記も不可
背 中	大会指定ゼッケンを縫着すること

※両サイドの紐を必ず結ぶこと。

※左右肩はいかなる表記も不可とする。

監督・コーチ・パーソナルコーチについて

1. 役割区分

	監督	コーチ	パーソナルコーチ
登録人数	都道府県1名	都道府県5名	選手1名につき1名
アリーナへの帯同	○	○	○
練習会場への帯同	○	○	○
表彰式への帯同	○	○	○
コーチ席	○	○	○

2. 監督・コーチ

- ア. 監督・コーチは該当するすべての選手のコーチ席に着くことができる。
- イ. アリーナへの入場は、監督1名、コーチ5名までとする。
- ウ. その他の登録コーチは、上記のコーチと交代することができる。
- エ. 競技場および練習会場へは、単独で入退場することができる。
但し、該当都道府県の選手が残っている場合に限る。
- オ. 表彰式に帯同することができる。
- カ. 競技の妨げとなる行為があった場合は、アリーナから退場を命じる場合がある。

3. パーソナルコーチ

- ア. パーソナルコーチは、登録選手1名につき1名帯同できる。
- イ. パーソナルコーチはコーチ席に着くことができる。
- ウ. 競技場および練習会場への入退場は可能となる。
但し、単独での入退場は認めず、登録選手とペアで入退場すること。
- エ. 表彰式に帯同することができる。
- オ. 競技の妨げとなる行為があった場合には、アリーナから退場を命じる場合がある。

4. アリーナ内での注意

- ・アリーナ内での携帯電話の使用は禁止とする。
- ※特に試合の写真および動画撮影は禁止する。